

周子先生の思い出と映画「いしゃ先生」ボランティア&エキストラに参加して 寒河江市 志田高司さん

西川町大井沢を離れて40数年になりますが、大井沢は心の故郷であり週末は度々訪れています。映画「いしゃ先生」の撮影に少しでもお手伝いをしたいと思い、美術製作ボランティアと映画撮影のエキストラに参加させていただきました。

◇周子先生の診療

母から聞いた話ですが、私が6歳の時(昭和34年の9月上旬)、自宅の木小屋で遊んでいて結んであったホケ(丸太)と一緒に落ちて腹を打ち苦しんでいるのを祖母が発見し、野良仕事から戻った母が急いで診療所で周子先生から診てもらったところ、緊急を要するとのことで西川町立病院に連絡を取っていただきました。午後3時頃のバスで沼山にあった町立病院に行き、緊急手術(大腸の破裂)を受け九死に一生を得ました。もう少し遅くなれば手遅れの状況だったそうです。町立病院でもその日は外科の先生が不在だったのですが、緊急を要するとのことで、産婦人科の先生が担当してくださったとのことです。これも周子先生が事前に連絡してくださったお蔭です。私の腹には今でも大きな傷跡が残っています。



志田高司さん(後列中央)と共演された竹子役の白崎映美さんや他のエキストラの方々
西川町立病院の渡辺舞先生ご夫妻(中央)も出演(舞台は診療所の待合室)

また、姉が風邪で肺炎を患った時、ペニシリンの注射をしてもらい大事に至らなかったことなど当時、村人にとって周子先生は本当にかげがえのない存在であったものと改めて認識しました。

◇美術製作ボランティア参加

昨年(2023年)の8月中旬に美術製作のスタッフとボランティアスタッフが集まり、『旧診療所』の整理と当時の診療所の様相にするために汚れ落とし作業等に参加しました。『旧診療所』は小学校への通学途中にあったのでよく知っていましたが、何十年ぶりに診療所の中に入り当時のカバンや診療器具などを目の当たりにして感慨深いものがありました。

◇エキストラ出演

その1(10月29日)山形市文翔館議場ホールで撮影された『保健文化賞』授与式の列席者として参加させていただきました。会場は、西川町のみならず県内各地から約200名を超す方々が正装や当時の服装で参加し、熱気に包まれた中で撮影が行われました。大勢の方々が「いしゃ先生」の映画を待ち望んでいることを実感しました。

その2(2月8日)撮影の最終日、大井沢の旧診療所において待合室で診察を待つ患者として参加させていただきました。ドキドキしながら、仲間3人と当時の服装に着替えをして撮影現場に入ったのですが、周子先生役の平山あやさん他の役者さん達の熱のこもった演技を見てすっかりその気になってしまいました。セリフはなかったのですが永江監督から動作に対する指導の後撮影が行われ、監督のオッケーという声を聞いたときは安堵感と充実した気分を満たされました。

エキストラとして撮影現場を体験させていただき、監督の指導のもと「いしゃ先生」の映画作りに携わるスタッフ及び地域の方々の熱意を肌で感じることができました。

素晴らしい映画になると感じました。家族共々映画の完成を楽しみに待っています。

志田周子HPで、写真などがカラーで鮮明に見ることができます。